

糞は資源だ！

グルメブームの昨今ですが、一番うまいものは防腐剤など入れた加工食品や化学肥料を使った作物ではなく自然の中で採れた山菜、野菜、肉、魚、海藻などをそのまま料理したもの。これを否定する人はいないでしょう。

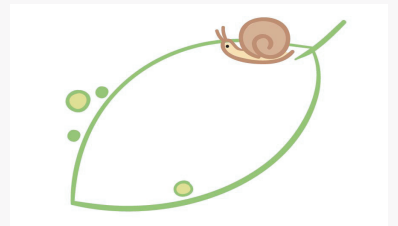
50年くらい前までは家のそばには肥溜めがあつて、野菜つくりのため肥たごを担いでいる姿がなんの違和感なく見られましたが、高度経済成長とやらで生活風景が一変、人間の「糞」など汚い代名詞みたいに思われる世の中になってしまいました。でも、最近もてはやされている有機農法（オーガニック農法）ってカッコいい言葉ですが、早い話が昔ながらの動物（人間も含む）の「糞」を利用して作物をつくることなのよね。そこで、今回トイレ作りの専門家である安藤公門さんに、トイレ作りから見る循環型社会の展望などのお話を聞く会を計画しました。

日本の肥溜めと畑の循環を今、活かす

日時：9月17日（土曜日） 14時～16時

場所：周防大島町・大島文化センター2階会議室

周防大島町小松138-1 町役場隣り（Tel 0820-74-3800）



資料代：500円（会場費、講師ガソリン代など含む）

あんどうきみと

講師：安藤公門さん（通称こうもんさん）

略歴：1947年生 立命館大学文学部中退 山口県立大学国際文化学研究科修了
（有）あったか村 取締役 水・環境担当（宇部市在住）

2003年から2012年までタイ北部農山村にNPO法人シャンティ山口の技術アドバイザーとして山岳少数民族の衛生環境事業・トイレ作りに参加。「社会を幸福にする技術、不幸にする技術」について学ぶ。糞尿資源化もローテクの可能性を追及したいと願っている。

主催：トトロ独り言の会

連絡先 09071252739（福田）

09048024787（山田）

